

細菌検査について

中央検査部主任検査技師

ささき かずなり
佐々木 一成

中央検査部では、迅速で正確なデータを提供することを目標に、臨床に365日昼夜問わずデータを報告し、診断や治療に寄与しています。

検査は、患者さんから採取した血液や尿・便・細胞などを調べる検体検査と心電図や脳波など患者さんを直接調べる生理検査の二つに大きく分けられます。

その中で「細菌検査」は、主に患者さんから提出された喀痰・便・尿・膿瘍といった検体を培養し、病気の原因となる微生物（細菌）を見つける業務を行っています。また、検出した微生物に対して効果のある抗菌薬を調べる薬剤感受性検査という検査も行っています。

検出された細菌が何であるかを確定できれば、どのような疾患を引き起こす可能性があるのかを予測することができます。それが患者さんの症状と一致していれば、疾患の特定にもつながります。そして、その細菌の薬剤感受性検査（抗菌薬が効果あるかどうか）を調べることで、複数ある抗菌薬のうちどれを選択するのが一番効果的か分かり、治療の方針を立てることもできます。

<社会問題にも関わっている細菌検査>

近年では、抗菌薬が効きにくい微生物（薬剤耐性菌）が増加しており、世界的な社会問題となっています。抗菌薬を乱用すれば、逆に耐性菌の発生を促すということが明らかになっています。これを防ぐには、抗菌薬の最小限かつ適切な使用を行っていく必要があります、その意味で薬剤感受性検査は必須です。院内に対しても、抗菌薬の選択や感染対策に必要な耐性菌の情報を把握できるよう、関連情報を感染管理委員会などに報告しています。

また、職種の異なる医療従事者が連携する「チーム医療」が良質で安全な医療を提供する上で重要との認識が高まっています。細菌担当技師も医師、看護師、薬剤師などとともに「感染制御チーム」「抗菌薬適正使用支援チーム」などに加わり、質の高い医療を提供できるよう努めています。



>>> 病院からのお知らせ

当院への受診は、紹介状のご持参と事前の診療予約の取得をお勧めしております。

事前に診療予約をしていただきますと、待ち時間が短縮できます。

糖尿病川柳募集！

今年も、11月14日の「世界糖尿病デー」に合わせて川柳を募集します。

- テーマ：1) 糖尿病の方を応援！
2) 糖尿病の方の日ごろの頑張り！
3) その他 生活習慣に関連した川柳！

応募方法：糖尿病川柳 応募フォームよりご応募ください。

募集期間：令和6年10月末まで

作品は、11月11日からの世界糖尿病デーイベントで玄関ロビーに掲示予定です。



応募フォーム
はこちらから